

2021/6/23

オマケの英語教室

急場しのぎに (As a relief at my pinch) 書庫版



8時半の男 リリーフ宮田

外国の方と話していて、言いたいことに当たる英単語を知らない場合がままあります。特に多いのが動詞形は知っているけれど名詞形をしらないとかまるで知らない単語とかの場合です。後者は当然ですが。

そんな場合、よく自分は急場しのぎの一手を画します。

それは前者の場合なら「動名詞」にしてしまう。

後者の場合なら何か適当に思いついた言葉の「語幹」に接頭辞を付けてあれこれやってみる等です。

まず、前者のお話。

動名詞とは動詞に現在進行形でよく使われる「ing」を単純にくっ付けたものです。

是で名詞になります。いってみれば動名詞とは動詞の名詞化のことです。

例として survive (生き残る。生き抜く) の名詞形は survival (サバイバル) ですが、それを思いつかなければ surviving (生き残る事、生き抜く事) にすればいいわけです。

他にも「vive」系では revive (復活する、再生する) の名詞形は、皆さんよくご存じの revival (リバイバル) ですが、それを思いつかなかったら reviving (復活する事、再生すること) でも良いのです。

次は後者のお話ですが、

その前に接頭辞とは言葉 (の語幹又は基本形) の前に付ける符号みたいなものです。

符号 (符牒) ですから或シグナルを発しているわけです。

例えば上述の例で言えば vive という語幹は「生きる」事を表しておりますが、その前に着いている接頭辞 sur は「超える、超えて」の意味を表しますので「悪条件を超えて生きる」

ということになり「生き残る、生き抜く」と成るわけです。

Revive なら接頭辞は re で、これは「再び」とか「繰り返し」を表しますから「再び生きる」で「復活する、再生する」となる訳です。

凡例

或時、お客様が一旦キャンセルされた予約を再予約したいとあってこれ、その事を外国人従業員に伝えるのに「再予約」という単語が出てこなかったのですが、咄嗟に「re」をくっつけて rebooking といったらどうやら意味が通じた様でした。

因みに当店では「予約」を表す単語として「reserve」とか「reservation」という言葉は滅多に使われず、彼らが来日した折の飛行機の搭乗予約でおなじみの「booking」の方がよく使われております

尚 booking は予約者名を本のスタイルの記帳簿に記したことが語源のようです。

要するにまさかの急場の際し、恥を掻来たくない一心からジャスト・ドンズバの単語で流暢な英語を話そう等という「インテリぶりっ子」を止め。むしろ動名詞や接頭辞の基本を理解して、それを上手く活用した方が余程上達速度が上がり実りある会話も出来る気がします。もし正しい名詞なり動詞を知りたいければ相手に

「I used the word "Surviving" But I want to know the correct noun. Please teach me」

(自分は surviving という単語を使ったけど正しい名詞形を知りたいんや。教えて。)

といえれば良いだけです。会話も弾むし勉強にも成ります。

何事に付け諦めさえしなければ必ず次の一手が出てきますから、ご心配なく。

注記)

接頭辞には他にも pre (の以前に) co(一緒に) un (否定する) 等まだまだ色々ありますよ。